

A

電は着々石家莊

淺間兩部隊

張家村·王家灣·

中南支方面打護く敗職中南支方面打護く敗職に周常狼狽せる南京政府は悪涯を上海方面職線に起源廷権を上海方面職線に起源廷権を上海方面職線に起源廷権を上海方面職線に起源廷権を上海方面職線に起源

# 日

九

兵曹長指揮の海軍航空級の 浦東の敵砲兵陣地に反復爆 浦東の敵砲兵陣地に反復爆

# 

## んどしてをり、 ケ師を新たに南方より最前線に增援し北支全線の運命を賭してわが總攻撃に敢然反撃を企て 霜凍る河北の職機は刻々熟しつい

《新樂八日毀國通》正定城はわが軍の手に隣し目下建敵を一人残ら北からもこれを掩護猛攻をなし一人も残さじと最後の掃蕩を開始した 【新樂九日發閱通】

は城内の麥畑からこれを包園する如く攻撃前進中で城壁上

の防禦主陣地がある、確報によれば、敵は石家莊を最後の一戦に死守するため中央軍の精鋭約害で、その背後には保定陷落以後わが攻撃に備へて晝夜兼行で防禦工事を急ぎ完璧を期した敵 對峙するに至つた、源沱河は幅三百米、渡渉せんとするも水深胸に達 し敵が力と恃む天然の要に滹沱河左岸地區に進出、いよノ〜平山より石家莊、藁城に亘る敵の主陣地 ミ河を隔てゝ直接【新樂九日愛國通】正定攻略戰も僅か半日でわが軍の壓倒的大捷に歸し第一線部隊は何れも既 正定城敗殘兵の溺死三百餘 蒙古平原祖宗の地に勇職す 平級線方面 解馬に跨り 崞縣外城

九日朝まで

、護間部隊は張家村、
、護間部隊は張家村、
、護間部隊は連
はあかの〇部隊は連
はあわか〇〇部隊は連

電空機隊の敷留に相呼應し四 は一直空機隊の敷留に相呼應し四 は一直空機隊の敷留に相呼應し四 は一部は海 がは一部は海 がは、また一部は海 がは、また一部は海

上海の指揮に

血達磨自動車で

り立ちこ

める暗雲を飼いて陸一加へて來たので、わが江上艦午後五時の二回に亘 再び虹口方面を目標に砲撃を接ば、本日午 砲兵は日没をまつて午龍七時日鑁國通 ] 禄東の敵

我江上艦船應戰

敗走せる支那軍は津浦線お 韓、白軍

浦線を中心に東に韓海が運河により旺んに関

西に白祭禧軍が必死に堅陣を

後四時半安平西方の部落に、八日午後四時石家莊の西

職に動して猛烈なる爆撃を敢行敵に大なる損害を異へた

平漢線退却中

その日

【〇〇九日設園通】八日午後二時〇〇根據地を飛立つたわが〇〇機は沙河の大鐵橋を再度爆

上

定
に

飛

來

完

全

に

目

的

を

達

成

。

支那軍を急追

**東軍騎兵** 

王の率るる保安経

何應欽派遣

(民生部嘱託)同

、アメリカにも正論はある 超特作日本版 クラブ主演

に達した折、敵の追撃砲が悪長が八日午後正定職劉最前線 れがため南京某軍事機關の職 員は近く廣東に移動準備中で 百花亂れ殴く 總動員超特作

做助葉双下木

各支部に劣る

きのふの軍用犬座談會意見

布望と東亜平和民族協和の 等民業に對しさらに將來への るが、補縁においてはこれ

大石黒繁治氏は間屋筋や得意 に同洋行を離じ、市内入船町 に同洋行を離じ、市内入船町 二丁目に店舗を新築、和洋雑

版)大阪放設合唱 製工

側間外の

3

今時の主なる演奏放送

目下豫約募集中

おのは、カンゴのおりのでは、おります。

東一條通

九

介置の

t

3

0

信

の段階に近づかんとしつ

金素洋行に三十年近く動資し

加量でを述べ一同倉食終期軍の運営を述べ一同倉食終

ルの反物二反を所持せる學しパーの横の連絡を保ちつる。日午後八時頃日本橋通り金一新京の各文化事業に拠はるメ

新京支部軍犬訓練は

萬引常習捕る

新京文化クラブ

の版へよ心分帽へよ有事のと を楽しみつよ健康を増進せ がを楽しみつよ健康を増進せ がを楽しみつよ健康を増進せ

のパズの運行停止を解除し乗れ月十九日以後死亡者なく現地一名あるも其後緩酸無き見なみにて収取へず農安審門間込みにて収取へず農安審門間

吉林協和會から

夢より覺めた如く何れも明日皇軍の目覺しい奮闘により顯言和宗政府の軽迫下に苦しめき南京政府の軽迫下に苦しめき南京政府の軽迫下に苦しめ

第局弘報班の陣容を更に強化 ・ 本のを機管を促すことへなった なほこれを機會に現在北支事 ・ ではこれを機會に現在北支事 ・ ではこれを機會に現在北支事

新土京小 京們解入

無式道大會柔道中込締切 無式道大會柔道中込締切 無式道大會柔道中込締切

電

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

軍へ感謝文 支那日満蒙 結成さる

りは各方

の盛祝で明十日小八家の職よりの申し込み殺の職よりの申し込み殺

#### 局認識徹底 國民精神强 9

## 十三日から一週間に亘つて 總動員。行事を實施

調るため十三日から十九日ま 並に銃後の後援强化の持續を の徹底と堅忍持久の精神涵養 民精神總動員實施要項に悲 般市民の時局に對する認 を催し時局に闘する名士の講 就を映畵新興関題、耀進海軍 統後の赤誠等を上映すること

中小學生が 鑛石採取 發に資せん 埋藏資源開

に副つて各種の事業を計畫し、滿洲國では澎湃として起つた

単 近く協和會を中心に行はれる 地動員としてB校所在地近郊の隠 地面員としてB校所在地近郊の隠 れたる鑢石を採取せしめること。なった、右はB校生徒に十萬を總 が最上たる鑢石を採取せしめること。なった。右はB校生徒に において事門家が鑑定することになつてをり、埋滅資源開 において事門家が鑑定することになってをり、埋滅資源開

番八四一二(二)話電 一种合組上消支官 六0二路

0

御

注

文と

お希

1=

應じ て

T b

1

17.

樣

12

\$

承

3

2

待

5

申 望

L

居

\$

STATE OF THE STATE

臨時船舶 管理令 に公布さる

**糸警務科まで田頭されたいと** が希望者は自筆魔麼書持<u>多</u>至

イピスト若干名を採用する

タイピスト募集

日信洋行電話

市內

初冬から新春

~

0

御四四

30

服

ズンに備へて豊富取揃へました調ミ型ミ柄の高級既製品をシー最新流行の粹、他に見られぬ色

の諸氏和席、細川主事説明の一組合長、米良大與公司、鴻鐵組合長、田村土産品組合長、田村土産品

中銀珠算競技ー中銀珠算競技

る時か

絶裁賞が授與される

で各課對抗競技優勝様には接料目は傳票、見取算、難除

延言八道海道話取扱所

。とに本年度事業報告、

新京戒煙 特別市公署

せる調東州臨時船舶管理令を公布した日本の海上を沿った。 一定方針の下に内外を公布した日よりではる調東州臨時船舶管理法と共日よりでは一つ変者等に於ても充分は一つ変者等に於ても充分法令の変者等に於ても充分法令の適正となる運用せらるの適正となり、此動令は一大の一般に運用せらるの適正となる運用という。 を表示しては一般に運用せらるの適正な自制自の命令を快いても充分法令の対象をは、一般に運用せらるのが、一般に要用せらるのが、一般に要用せらるのが、一般に要素を表示。

### 奉天に叉疑似コレラ

# れで全満患者

一時より上棟式を舉行することとなった、尚同戒煙所の總 第二千圓、共進組の工事請負 になつたものである

園田實海軍少將

希

望

可成官吏會社員の方に温水、瓦斯、水洗便所

希望者本人來談

富士町一丁目一ノ三

年

洋

服

店

某役所食堂

男給仕 ) 十五六才以

給

權太商店

日信洋行では電影

貸

**八墨、六墨、三墨、庶務室、** 

間場

取所

视町五丁目

堂

【東京國通】 養備海軍少將男 保園田賞氏は長らく病臥中、 八日午前一時世田ヶ谷區羽根 木町一、七六五の自宅で逝去 した、享年五十四、葬儀は十 日午前十一時青山濱場で執行

于且了一町野

救世軍日曜集會

詳細は面談の上

名

在

社

新京日本領事館西側

丸型。

宿下御

四朝叠

明タニ食附三十四個よ

9

婦人家庭教師を求む

出を拜する集ひ右終つて市十六分西公園誠忠碑前にて日十日(日曜日)日の出六時四

日の出を拜する集ひ

女中至急人用二十歳位より三十五歳位迄希望者は本人御來談下さい。 兵衛 過四二 衛

- 衛

月子店員 二名 明子店員 二名 市内に確實なる保證人を要す 市内に確實なる保證人を要す 東二條通五一

靴

メソデスト教會

れてゐる率天に又もや疑似コレラ發生したとの報が九日朝 民生部衛生司保健科に入電あった、率天商埠地十番地十緯 路三建築菜三宅大一郎氏同居 人木戸初次郎(三七)は八日 大木戸初次郎(三七)は八日 なり、九日午前七時に疑似コーニンをり、九日午前七時に疑似コーニンを表示した。これで満洲

新京軍用鳩協會主催

軍用鳩展覽會

您よ十一日より寶山で開催

吉林各機關

緊急防疫協議

生を見てより至滿を掩ひ、吉

表十五萬會員の感激に指へ で、庭なり、弦に衷心感謝 の意を捧ぐると共に興亜の 目的を達成せられんことを 新る 一月一日 ・ 満洲帝政協和會 ・ 古林市全會員一同

事會開催 滿洲國體聯理

テルに常務理事會を十三日ので十二日正午よりヤマト ので十二日正午よりヤマ田張中の田中主事が翻京 理事會を開催することに 後四時半より協和會館に の議題左の通り 一日から「弘報係」に改稱した貿八日附配報で浸表された 資料係改稱 滿鐵支

庶務課

一、里田慶祥午前九時十五分一、聖日禮拜午前十時十五分一、聖日禮拜午前十時十五分一、夕拜、家庭集會 清和胡同六〇九「中田兄宅」午後七時半

間貸

五

=

Л

九

歷中等學校本業程度、高社員及給仕採用

日 大新京、および本社後接の軍 博士 という は毎日午前と午後の二個放息 信器村、多考宮園、鳩の育用品、 場から補別文化事業一般についた、 海衛を附しての一齊 考、關東軍出品の落下金、飼育 れて来た七日會その他の藝術を行ひ、鳩笛を附しての一齊 考、關東軍出品の落下金、飼育 れて来た七日會その他の藝術を行ひ、鳩笛を附しての一齊 考、關東軍出品の落下金、飼育 れて来た七日會その他の藝術を行む、鳩笛を附しての一齊 考、關東軍出品の落下金、飼育 れて来た七日會その他の藝術を用のてビラ撒布等を行ふ、 の價値あるものばかりである に新會員を加へ統一强化した

京白線

一帶の

スト終熄

哈拉海ペスト調査所の報告

大新京料理店組合の

もので、毎月五日、

一世日の二

談會等も開催することになつ回帰會を持ち必要に順じて座

| 附近のベストも當局必死の防 | た複線である、即ち哈拉海ベー時猖獗を極めた京白線沿線 | 按により殆んど終慮に近づい

第二回總揚献金

三千八百七十九圓闕東軍へ

土們嶺、小八家子行

態よあす決行

申込は出發前迄受付

取した旨自白したが、右は率 京署日高刑事が競見嚴重取調 べたところ所持の反物は、同 日日本橋通り新京百貨店で物

田中主事日本出張報告 に関する件人競技者選手権 に関する件

日本基督教會

收

師

泰信無盡株式會社

-

.

・ 根海 係 年令三十才より四十才まで 但し保置人二名要す 但し保置人二名要す

新京豊美路四二道 エスヤ洋服店本店 一へ五〇番

から左犯電報電話局を設置するべき 強になる十一月一日 では来る十一月一日 

電報電話局の設

す マルト・シリース 再勝 ・ マッツ・・シリース 三甲勝 ・ マッツ・・シリーズジアイアン ・ 大変ディアムにおいて擧行さ ・ たが、結局八人對一のスコ ・ でヤンキースの再勝となつ 一、聖書學校 午前八時四十

取扱所を廃止し之が事務は前又十月三十一日限り左記通話

濟電姆電話局 間島省

報電話局で収扱ふこと」

華北鐵路愛護村を

强化擴大圖る

満鐡積極的に乘出す

り母月の公休日を全殿して襲いた。 り母月の公休日を全殿して襲いた。 り母月の公休日を全殿して襲いた。 三日の分は三千八百七十九圓 三日の分は三千八百七十九圓 七十六錢に達し補野組合長、 七十六錢に達し補野組合長、 大条慶國防献金は周園の情勢 休全慶國防献金は周園の情勢

明、餘罪嶝軍取調べ中である萬別の常智犯であつた事が判

京百貨店及金泰洋行を根城に 図性 (三〇) で追窮の結果新の結果新

日人女子給仕募集
一、毎齢 十五歳以上十八歳迄の者
一、毎齢 十五歳以上十八歳迄の者
一、毎齢 十五歳以上十八歳迄の者
一、毎胚 高等小學校卒業者
一、毎胚 高等小學校卒業者
一、方言市内に確實なる保證人を有

、 塩物 所 質山百貨店前大經路角興和ビルー、宝 敷 ニー四室(洋間にて備品ペットー、成る丈け銀行會社の獨身寮として御供し申費し十月下旬移轉の害日瀬西寧東邦寮跡 御希望の方は左記へ御照倉下さい , , 室場貸

電防③四一八二番 宿下級高

短 期 新宿 京

八八島小學校前 (1) 人島小學校前

百 婦人セーター 金 V

REFERENCE FOR STATE STATES STA 電話3六五〇七番へ御願ひ致します今度電話番號を變更致しましたから今後は毎々格別の御引立に預り厚く御禮申上げます 話番號變更の御知らせ

総行庶務 <del>進務</del>課行

胀

中

新型中折帽子 御子様の可愛

男女洋服各種男女

品雑貨食料品類

w) 小島政二郎原

す壓をシラクエの秋々堂

4子主演の大音樂映四色、鈴木薫吉監督

表すべき左記豪華ラインアッカでは、直ちに本るべき秋のシーズンに製作品をできない。

洋畵各社現在の

度起たば」 EDAN.

「受怨峽」「吉田御殿」から「受怨峽」「吉田御殿」から、 
泉然目覺ましい躍進を示して 
ゐる新興キネマでは、益々秋 
シーズンへの攻勢を取り大泉 
婚への道」「煙る故郷」「乙 
婚への道」「煙る故郷」「乙 
大十九」「强者の戀」「みだ 
女十九」「强者の戀」「みだ 
女十九」「張者の戀」「みだ

●一白の人 内々の混亂に辛勞あるべし外事には咎なし甲と乙と巳が吉 一二黑の人 天惠多大にして希望成り財寶身に集る如し甲と巳と癸が吉

展でかな舞台を展開する、一 の監場俱樂部において華々し の監場俱樂部において華々し の監場自樂部において華々し 全國萬才名流大會 公會堂開演 特割引券を御利用下さ 新興大泉の 秋の製作

成先庚日

65

文部省具體的準備に着手 國際文化振興會、國際觀光協 際映畵協會では直ちに文部省 際映畵協會では直ちに文部省

日獨間に成立 萬歲光明會一行」

文化映畵交換協約

讀者優待 新 から二日間

間のところを三 ーズン酬はの感があるシ」を併立するなどあって「進め龍騎兵」と「ごも併立するなどありません」と「

甲と子とで

り開扉に努力次第

讀者優待 日日新 開社 券

場所 記念公會堂場所 記念公會堂

盡漫 色彩極 變事◊ 크ニ 一御は曜日曜土 十月十日 日 年後二 ひます とます

洋服ご洋口

品は是非

興順增

御健勝の御事と存

橋本日

三③電

TEETTEETEETEETE

盛況を極めて居ります

入場料

壹

新人ダ

てつ盛を激感さ奮與の高最度年本

\*本 新楊 京七八 朝鮮のお雑煮 朝鮮の丼め

冷麵店(3)五百二五零

時

4

V

是非御試食下さる標御顧ひ申上ますを始めました

**山田書請雑作移轉等總で凶** ・ 選事思はしから **原閣苦勞を生じ** 鬼角州動の出鼻

とけ聞をスーュニ地現いし々生 共器信と 超い は続い 所属 にを観れ 超列現歴 進版のスし々地の Summer Transmiss 新發賣用一一〇一型 一、み属に同時は器本 能性でしと用底家御板 つ作でしと限主を一第

後草 歌姬·近日 乞ラ デ 期の **治神響** 一名花 33

行興衆大 指目 ーユビデ々 堂てし

於 記念公會堂 ゼ 十九日日 曜 Ł 日 公 = 會 曜 (每夕六時) H 堂 は 間

に取揃って有りますかしては今般左記の品入

南) 通

0

曲奇萬 技術歲 ナ ジ ンセ 1



非な的質賞、でのもた

すで被器な用徳おに常

つ放をトツヒ然斷 無敵 爆笑陣

TIL 賣ラマ 傳ガ春香シアカ 説リハ高 りい高 の。き マリーの物語 新 ウ 聞二 2 高級映畵の殿堂 ユ MARIE 1 1 ススス !!!作傑の情殉の來以てつる史畵映

×たれた放を弦は矢の望待 樂響交の活生き强ミ戀いし美に朴素ミ雪吹いしる恐てしそ、流激、森、風、雪 關東局管内に於ける

(地方別)之を地方別に関る

上海四銀行事實上

南京に移軸

# 昨年よりも良好

# 廻期を控へ總局萬全を期

合朝支歐日 合朝米歐日蘇合支米日包合轉支 計鮮那洲木 計解圖木 計解圖木 計蘇那

三一型

調節を期

沖中銀為替 九四第〇〇 九四第〇〇 1元第八分一

※四

二九九

數

青春

0

宿

**容分五** 

M00

二元

訓令を出す

各地株式市况

働者要求の

1,23,11 1,23,11 1,23,11

事會に一任することになった。ことに決定、右質行方法を理協議した結果これを受諾する

出、一二、元十二

(滿洲重要物產組合調查、 以降十二年九 新年同期 かた。一二二 カー大・八六二 マペック・



本 とき おり 下同じ)を輸出する とき では 整出郵便 を とき では 一 で は を を とき で で た る と を とき で で た る と を と き と き で で た る と を と き で で た る と を と き で で た る と を と き で で た る と を と き で で た る と を と き で で な る と を と き で で な る と き で で は 差 出 要 が か で は 差 出 要 が で で な こ で に 報 ま う で の 級 信 を で の と で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の に め の に め の に め の に め の に め の に め の に め の に め の に め の に め の に か で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の 限 に で は こ の R に で は こ の R に で は こ の R に で は こ の R に で は こ の R に で は こ の R に で は こ の R に で は こ の R に で は こ の R に で は こ の R に で は こ の R に で は で な に か の に め の に か の に め の に め の に め の に め の に め の に か の の に か の に か の に か の に か の に か の の に か の に

料糖供給決定

を見るさ

その木鼓腹の神

線維はが、

すは、議治の方を盗むや

金銀市 

だはきつさ。 みつぶされたやうな突縮をして腹を下げるのを見るこ、脚 すも少かるず狼狽した。 を眺めながら、さう思したが では、自分の目の前に、 では、自分の目の前に、 あらする か。その男の姿はそこから消えてしまつてゐた。

さするのを、雛子がひきさい いって

趣座キネ

ない。その男の姿はそこから前。 男の方を見たが、いつの間に 男の方を見たが、いつの間に 男の方を殴つたらよいちゃなるのはよくないわっ酸るなら 理由を察し 力

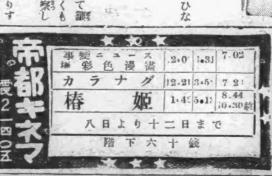
のあさから、標準気に、太鼓 して来た。すべては、明白で ある。

電流が妹を歌った理由の がな見たが、彼女は、 では、だいて、世

が、直感したが、果して、

開始た

「妹ですー



できってす!

『あんたこの



る調治の腕を振んだ。 たしながら、女を見下してゐ をしながら、女を見下してゐ では、その次の瞬間 では、その次の瞬間 では、その女とは、その女とはがしく平手で打つたのだ。 なはよろくとで観れて、打た 女はよろくとで観れて、打た "ひざいぢやあり 

・ 見上げた女は、次には、 ない呼びをあげて、 製治の と にすがりついた。 更复御相談

方は當所へ第一場下さいす〇貸家貸間掲載御希認御間合は直接家主へ顎ひ

柴谷宰 二郎查 いとがみその顔を であた。彼の側に 

映画御家 宣楽則場

第二十三號

して又は寄贈の

東拓乘出す

近來勞働者の不足狀態となり蓬葉五ヶ年計畫感よ緒につき

大阪株式

(短期)

叩頭するのであった。

一二階の三十號室

さを感ずるさ、

を感ずるさ、無意識のうちを感ずるさ、無意識のうち

働者の渡滿が激減し一方に

将介石政権の胚迫の

東京株式 (短期) 新東 第一 (短期) 新東 第一 (短期)

また、客腔や言語などから、また、客腔や言語などから、また、客腔や言語などから、また、客腔や言語などから、また、客腔や言語などから、また、客腔や言語などから、また、客腔や言語などから、また、客腔やはの形態やのでは、

支棉花企業

るとき るとき が貨物と取換 なとき がより なとき がより

・ (173) - (1

立によつて問題を解決しやう これに對しては勞工協會の設 これに對しては勞工協會の設

の敢へず當面の對策し

がかって、階級をのぼりながら が11のあさから、譲治さ があるがら、譲治さ

至つたので從來朝鮮とは暗ならびに最新方面に轉

各地商品市

帰力正業化させるべく棉

要者より縣公署、省公署或ひつたものである、右訓合は需

では、お酒を部屋へはこば

譲治は、苦笑

終議の意

お腹、空かないこ言?」

正業に從事してゐるた

供給の閩滑化を闖ることにな 策に關する件」を競し勞憊者 策に関する件」を競し勞憊者

・き性質の貨物を輸出するとき でのものを輸出するとき でのものを輸出するとき でのものを輸出するとき でのものを輸出するとき でのものを輸出するとき でのものを輸出するとき が、代金取立手形により代金引換 の取扱の下に輸出するとき するにこれを減消内に回金 も、管廳の必要により個額千圓以下の物 通じ個額二萬圓以下の物を輸出するとき 出するとき 出するとき 出するとき 一、平荷物、引越荷物又 は船用品(漁業用品を含

哈市交易所

| 鐵道總局に對し種々要切が出庫驛の哈滿濱設定方に大豆を上場するに當りた 混保大豆上塲 た全補特産懇談 商况欄語

倫教金塊 一一次十二分一 和資金塊 三五弗〇〇〇 倫\*銀塊 二〇片〇〇〇 一次十二分一 大チェンダ株三四州二分一 フナゴンダ株三四州二分一 同光限 一大子・ルは 五〇閣と四分三 本方月限 本 一九九世三分一 七月限限 本 一九九世三分一 七月限限 本 一九九世三分一 七月限限 本 一九九世三分一 七月限限 本 七〇第四分一 七月限限 本 七〇第四分一 七月限限 本 七世仙八分一 七月限限 本 七世仙八分一 七世仙九二分一 七世仙九五七七仙九五十 七世仙五五八 七世仙五五八 七世仙五五八 七世仙五五八 七世仙五五八 七世仙五五八 七世仙五五八 七世仙五五八 海外經濟電報

現 ★ 大阪期米 大阪期米 大阪期米

一二月限 三六0 一月限 三六0 一月限 三六0 一月限 三六0 一月限 三六0 一月限 三六0

について慎重注意をなし富れら勞働者の使役、取扱ひ

て、廊下を製の方へ進んだ時 行手の右側のドアが、内部か ら関かれて、そこから、かう ら関かれて、そこから、かう とない、総は考養の一人の かが、職をうつむけ、よろめ くやうな足取りて出て来た。 ませんか?

◆福か大田の ・本日の ・本日の ・本日の ・本日の ・本日の ・本日の ・本田の 貢家御案內

新京キネ

ーピスガール

新京キネラ 神乃木な △近日交開▽ 新京キネマ

春日井梅鶯口味

海の 豐樂劇場

由ターザン

朝日 13. 53.31 6:47 座

新京丰多

御案内

をもつて九ヶ関條約ならび ・ 大に温明した ・ 大に温明した ・ 大の一とある行動 においてとりつとある行動 ・ 大の一とある行動 ・ 大の一とある行動

り、今文事要は條約上明白り、今文事要は條約上明白 ・ 本のにして、書幹廣濟權に ・ 本のにして、書幹廣濟權に ・ 本のにして、書幹廣濟權に ・ 本のにして、書幹廣濟權に ・ 本のにして、書幹廣濟權に ・ 本のにして、書幹原濟權に ・ 本のにして、 ・ 本のには、 ・ 本のにして、 ・ 本のには、 ・ 本のは、 ・ 本のは、

約に違反せず

外務當局、眞意を闡明

#### 

【頁二十刊夕朝紙本】

御紋服別染 浜京屋りとち

職逮捕、劉汝明は免職に決定に入日附をもつて張自忠は免

張自忠、劉汝明 免職さる

海軍航空隊浦津線、廣東を空爆

と職ひつ2六百メートルの低 完全に爆破し他の三棟に甚大 鐵橋を爆破した上鐵路敷ケ所分頃株州上空に現はれ悪天候 にある製鐵所四棟の中一棟を の南方十五キロの湊口にある機は浙江沿ひに午後一時四十 空飛行を敢行し、市街の北側 なる損害を興へ。さらに市街

徳攻撃が開始され職局の急速 を國の一般興論も次第に鎖帶

大進小機子警察署を

大迎水上警察署

な展開をみれば自ら落着くと

外國商船十九隻

世り、この日城内に敬機を見ずわが全機は悠々爆撃を敢行せるのち無事障還せり 「大田の日城内に敬機を見ずわが全機は悠々爆撃を敢行せるのち無事障還せり、また一部は江陰附近において水雷艇一隻を爆撃し折朽一帶を襲ふある軍隊輸送貨物列車、機關車および鐵道轉輸器等を爆撃大破せり、また一部は江陰附近において水雷艇一隻を爆撃大破せりとある軍隊輸送貨物列車、機關車および鐵道轉輸器等を爆撃大破せり、また一部は江陰附近において水雷艇一隻を爆撃大破せりとある軍隊輸送貨物列車、機關車および鐵道轉輸器等を爆撃大破せり、また一部は江陰附近において水雷艇一隻を爆撃大破せりとある軍隊輸送資物列車、機関車および鐵道轉載器等を爆撃大破せり、また一部は江陰附近において水雷艇一隻を爆撃大破せりといる。

以来珠江口で鹿東側に足上のされてあた外園商船十九隻はその後百方手を盡して港外に透れんとしてゐたが、九日早に近れんとしてゐたが、九日早に 機職警察署動務を命ず 管部補 加北 瀬司 デ 川 東

無敵皇軍右玉入城

凉城、寧遠縣城も確保

平和克服の際の邪魔になる盲 と述べたのは英國政府が依然 と述べたのは英國政府が依然 しをコミットする時機でないと 脱出、香港に歸還した

關東局警察官

昨、第二次異動 岡 能令 会対 が 發令 **迪**治

安東警察署勤務を

部 補れた

西條 職七

て穏健

行 を東警察署動務を命ず を東警察署動務を命ず で 美男 作警部 作警部 管務部警務課動術を命す 管務部警務課動術を命す 管務部管務課動術を命す 管務部管務課動術を命ず 管務部管察課彙關東州 管務部高等警察課彙關東州 管務部高等警察課動務を (州高等)

新京中央通 (新京神社前)

州廳警察部保安課勤務を 同 小

上海方面

に於る戦

敵遺棄死體六萬

大連水上警察署 (州保安課) ( 奉 英 三

津雲國利氏來京

#### 【正定九日愛國通】補を持してゐたわが皇軍は七日猛然立つや堂々の正攻 をもつて正定城を攻めてこれを掌中に收め大勝を博し凱歌を 々どし夜空を壓す 軍ごと

面陣地を構へ平山西方山地より藁城西方に隅なく鐵壁の堅陣を張り繞らしてをり、その兵力はてゐるが、敵は蜿蜒二十里に亘る主陣地の後方石家莊。滹沱河々畔に至る一里半の間に數ケ所の前 **岸北部の石家莊西北地區を完全に占據して平山縣方面の敵左翼機酷を狙ひつゝある、かくて九日朝のわが軍は「沱河北岸前 線に敵を壓迫し第一線部験は「沱河を挟んで石家莊の敵主力と直接相對峙、一方大行山脈に沿りて靈壽、田營織を抜き敵二萬の兵を撃 破したわが部隊は河** 道沿線に衛立煌の三ケ師、 敵左翼據點平山縣および西方高地附近に湯恩伯の二ケ師があり、 央軍の精鋭を主力ごする廿萬の敵大軍ご相對峙してゐる、即ち七日平漢路に沿りて南下、正定城を攻略したわが して戦線を固めてゐる 同夜皇軍は欅を並べて滹沱河の西北岸に進出、九日朝に至って北岸一帶を完全に領有し、巨流を距て、中で万里蓋層語と納を持しての大計が長旬に十里語の第二半堂への近辺数をすって正安原を選びてこれを導車に収め大阪を持し盟研を罪 右翼は孫連仲二十軍が、破いて萬福騎軍、陽騎战軍、その後方西震軍と二十萬の兵力を配 正面石家莊方面は左方正太鐵

正定方面の第一線部隊は正定南方に逃走する敵を追撃、九日午後、沱河北岸に達した、 砲兵部隊は正定南方の敵に對し

# 石家莊の總指揮に孫連仲

天娘と近代築城

いが主力部隊正定す

るる者もあり、小銃、機銃・手榴弾は無数に散亂してゐる、目下判明し【正定九日發國通】 認に絡落した正定城西北突角に聽じ上ると城內 つゝあり、これで正定城は完全にわが領有に歸した、わが前標部 軍と第廿九軍の混合軍である、 《正定九日發國通》 帥田部縣の損害は職死中尉尻枝重二、少尉加久今鳳介ほか下土官兵十名である、なほ少尉山門靖二は貧傷した神は無數に散亂してゐる、目下判明したところによれば、敵は商鰈の率ゐる第百四十一節、萬福騰麾下の第五十三 上ると城内に倒れた敷百の敵死體の血の海の中にカーキ色の正服を纏つたまゝ呻いて

九ケ國條約會議に痛彈

(H

曜

日)

城内は敵死体で宛ら血の海

「○○九日漫國通」八日○○海軍航空隊の○○機は杉少佐海軍航空隊の○○機は杉少佐

わが海軍機

大難航であつたが手練の海軍 ロの保守業大會における演説 な文句を使用したが全體を通は天候陰墨密雲低く垂れ非常 ンパレン首相は八日スカーボ 題に言及、言葉こそ相當强硬は天候陰墨密雲低く垂れ非常 ンパレン首相は八日スカーボ 題に言及、言葉こそ相當强硬した、株州は長沙南方四十や ロッドン八日發騰通)チェ 中極東問題およびスペイン問い、株州は長沙南方四十や ロッツ (ロンドン八日登騰通) チェ 中極東問題およびスペイン問い、機構及び鐵路を爆 英の輿論も次第に鎭靜

即ち極東に關する分は容爆の

**巡機關設置案** 日の閣議に提出 \委員人選着手

管相より右補强機闘設置の件 によく十二日の定例閣議に がよく十二日の定例閣議に がよく、十二日の定例閣議に 機關について、近衡首相は過されることになつた内閣補强 されることになつた内閣補强 

イ、委員は十名内外とし親任 官待遇とすること ・、、政府の機關として關與し てゐるものを除き現在野に あるものようちから大臣級 あるものようちから大臣級

を非離するのが関の山で道を非離するのが関の山で道を非離するのが関の山で道を別代はれるとは考べられぬれた代にれるとは考べられぬが、大代になるとは考べられるとは考べられるところより多数の名において再び日本

具現さ

集團

上領 北覽溝

を立てる

息通、悲觀的觀測 のからくり

1 官遇は聯盟主唱の九ヶ関條 的関音編集に對し逸早く反對 の意向を表明、ドイツとふも してゐるが、八日のガゼツタ デル・ボボロ紙は九ヶ関條約 でル・ボボロ紙は九ヶ関條約 でル・ボボロ紙は九ヶ関條約 でんちんのだと左の如き痛烈な を優して なるのだと左の如き痛烈な

会議を を できる日本に対して世界の を できる日本に対して世界の を できる日本にある、しかし列園 とするにある、しかし列園 を では武力も製済対を動員せん に 撰京園通 治 海軍大臣代理と を では、日本に対して世界の を では、日本に対し、

「羅店鎖九日愛園通」安海、 水津南部縣は土衣を通して外 地域 選部縣は土党の運しるべとして暗 が成及朱家宅を政略した。目 下取走する敵を追撃中 下取走する敵を追撃中

制定、農事合作社選動の創資施を機として棉花統制な資施を機として棉花統制な

はねばならぬ。「日本が真にはねばならぬ。「日本が真にはねばならぬ。「日本が真に有する、然しながら中國朝野平和や招來する大道なりと確かする、然しながら中國朝野中が表現であつてこれが真に東亜の提供の如き不許事致生をせんながらものが、道に東亜の根拠である。「從來南京軍閥政構吹笛に狂奔し來のたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ、直に東亜平和のためたのだ。直に東亜では相携へて東亜で

ZILL

國政府より發表

對策要綱

但し合作社なきいれ、政府は棉花の際山大の際山大の際山大の際山大の際山大の際山大の際山大の際山大の際山大の野山大の野山大の野山大の野山大の野山大の野山大の野山大の野山大の野山大の地域が大きい。

や蹴すること の情化の情齢調整を でれる情報を でれる情報を であること

當局談

作し設に換為上のし全くの規 採では動金ででてが開格 算販るしさあ見る行新器格

て進む日の近からんことを動 間速なる現想に共鳴し掘手しれてある松井大路の面目は脳 和たるものがある。われらも また一般支那民衆がよくこの 知たるものがある。われらも また一般支那民衆がよくこの に進む日の近からんことを動

被特面 独語を 保護し、 と を に進し、

本 満洲國政府は棉花増強計費の と相俟つて政府と農事合作社運動の創設 を加へ近く同鉄施行制則の公 を加へ近く同鉄施行制則の公 本をまつて本月十五日より質 に棉花統側法に基き原料の自 に棉花統側法に基き原料の自 で表表の加き棉花動質の かさため左の加き棉花動質を 要要を加入近く同鉄施行制則の公 に棉花統側法に基き原料の自 に棉花統側法に基き原料の自 に棉花をまつて本月十五日より質 に棉花統側法に基き原料の自

ると、ものであります。 動をもつて論付を受けて、 を整数にあるでありますし、 を整数にあります。 を整数にあります。 を整数において、 を整数におります。 を整数におります。 を変数において、 を変数において、 を変数において、 を変数において、 を変数にあります。 を変数であります。 を変数であります。 を変数であります。 を変数であります。 を変数であります。 を変数であります。 を変数であります。 を変数であります。 を変数であります。 を変数である。 を変数であります。 を変数であります。 を変数である。 を変数でな。 を変数で、 を

とが傳へられてゐる

寄

(九日後場)

朝日經濟封鎖

自の建設の歩を進め、事變に 必要た物資は大體日本及び現地において支給すること」なったものである、滿洲より事變へ供給し得る物資としては 機製品、石炭、セメント、食料品等があり、更に進んでは緊

、高 約十五萬キロトンの減收を ・ 小 野比前年一〇四)してゐるに ・ 小 野比前年一〇四)してゐるに ・ 水稻 野比前年一〇四)してゐるに ・ 大稻 野比前年一〇四)してゐるに ・ 大稻 野比前年上と作村面積の増加 ( ・ 大稻 野比前年上と南滿一部地方 ・ と 低下(野比前年九七)を招來 ・ と したためである

な見やすい道理をさへ認 を口にするを得ない状態 を口にするを得ない状態 を口にするを得ない状態 といふ部分の如 く思ふ」といふ部分の如

将来に取つて由々しき重大事安定勢力なるべき日満兩國の安定勢力なるべき日満兩國の

方となりを重大事

第二回農產物收穫高豫想

今次事變によつて攪鼠を

(B

迴

の産業

次形事を訪れたである。 が関と非常 が関と非常

政府財界の知人と懇談を逃ればドイッにおいては防共 協定成立後の經濟事情を開 協定成立後の經濟事情を開 は、イッにおいては防共 は、イッにおいては防共

#### 松井大將

上海方面陸道最高指揮官楼 大野は一昨八日、駅前並び に「中華民國人士に告ぐ」の に「中華民國人士に告ぐ」の に「中華民國人士に告ぐ」の に「中華民國人士に告ぐ」の が、交職 のであるが、交職 利地に於いてこの意思表示が 行はれたことは、支那の一般 として堅 として堅

の使命は日本政府際明の趣旨 に基さわが確益ならびに居留 民の保護を全うすると」もに 展の保護を全うすると」もに 展の保護を全うすると」もに 展の保護を全うすると」もに 展別に方 を確立するところにある」 を言つてみる。最も簡明に方 かが、日本軍は克仁克威海 を確立するところにある」 を対の根本を述べたものである かの日方に近きにあるは本職 を確立するところにある」

る具體的問題の計議決定を行ってゐる、即ち今次專變勃發 に際し、殿線ならがに諸穀の工作に必要なる物資を滿洲より供給することか一應考へられたのであるが、元來滿洲產業五ケ羊計畫は滿洲國をして ま並の安定勢力たるべき張力 なる産業國家たらしむるにあ

皇后陛下 御下賜

非難昂る

ボラー氏語る

度はそれと同じだの態度はそれと同じだが知る時間と対からざる所名を印した、今回のル大統領の態度はそれと同じだの場所を対した。 左はの大

行き過ぎを非難、

ゐるが、同氏

【東京國通】北支に、上海に 無職皇軍が機構に武蔵を振ふ 時強後備役に欄入されて関軍 の第一線を退いた將校は悉く 再役從軍方を志願してゐるが 計れて六十九の老體をも顧み す敢然として從軍許可を顧出 た熟血の老軍人があり、軍當 局を感激させた、この老武人 は退役步兵中尉高山政交翁で は退役步兵中尉高山政交翁で は退役少兵中尉高山政交翁で

よると極東ツ聯邦領内に居 三任学某の齎したところに して來た中島人コルネーズ 回琿容縣梨樹蔣附近に赴走 して來た中島人コルネーズ の既迫に堪へかね越境滿洲 してをところに 

でが當ける

聯の壓迫加る **朝鮮軍當局談發表** 

對す

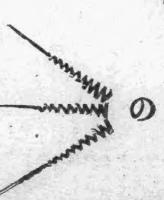
3

日滿軍戰歿者 合同慰靈祭

日露戦役満洲事變の老勇士



群人新のひ揃粒



八十九の老體顧みず

**糧鑠**、

從軍願ひ

## 支那事變發生による滿洲産業 原設計量の再編成については 足野總務長官、岸産業部次長 の東上その他日満兩國の緊密 なる連絡打合せのりちに鋭意 考究されつゝあるか、滿洲國 が行では右に關し儼然たる大 方針を決定してをり、この大 方針を決定してをり、この大 で現地へ送ることが考へられるが将来に亘る大局的見地か らかよる意場の方策を捨てよ 進することよなつたものであ る。たよ今次事變によつで日 る。たな今次事變によつで日

H. ケ 五百萬碰增產 年計畫以外に

満炭で具體案計畫中

氏は國民使節として十四日横(東京國通)前商相伍堂卓雄

十四日出發 堂遣獨使節

【東京國通】皇后陛下 には名譽の職傷を受け た終兵に對し御自ら卷かせ給へ る欄帶を御下賜あらせられた が、九日陸軍職傷を受け を御下賜あらせられた が、九日陸軍職傷兵に 對し個自ら卷かせ給へ る欄帶を御下賜の重ね らせられた、小泉醫務 局長は午前十前半島后 を退下した

今年度收穫は

前年ご略同様

コーをなしぞの内容を七日の 野雄電話をもつてインターや 野雄電話をもつてインターや

はなかったのではないかも はなかったのではないかきに対談したが誹謗された関が は日本を侵略関としてが誹謗された関が は日本を侵略関としてが計談された関が であると期待出来るで談が であると期待出来るである。 はなかったのではないかきならべる情談ができると別待出来るである。 はなかったのではないかきないかきなかったのではないかきない。

にスルリン

E

よ露骨 を は で が ある とい はれ、まさ に 往年の 聯ソ 時代 に 彷彿 た に も の が ある も の が ある

のほかソ聯陸軍游校の既にてある等の事實がある、右てある等の事實がある、右の間に無線通信の特許を得の間に無線通信の特許を得としていい。 特にモスク

伊國汽船は空襲され

が出後してゐるが、七日イタは解消されず依然海賊潜水艦 英汽船は拿捕さる

飛行機

更に七日英國海軍省に達した 報告によれば、英國汽船ョーク・ベルツク酸へ一、二三五 報)ならびにドーヴアーペイ 数は北部スペイン沖合におい てスペイン革命軍所屬の武装

事變で再渡端北浦警備隊長と して奮戦、さらに蒲洲國軍第 一族関副團長として湯玉蘭軍 「昭和九年末歸郷、爾來悠々自 昭和九年末歸郷、爾來悠々自 昭和九年末諸領した事がないと れて未だ病領した事がないと どうしてもじつとしては居 が、これまでの經驗で入たが、これまでの經驗で入た 当り得る自信がある。何も と思ふだらうが、國民皆 を認ふれてはいかぬ、情國 を認ふれてはいかぬ、情國 を認っている。 でしゃばる必要もな が、これまでの經驗で入た でしゃばる必要もな でした。 でした。 での記念物でや の記念物でや の記念のためない。 の記念のためない。 での記念のためない。 でのためない。 でいためない。 でいたが、 でいが、 でいたが、 でいなが、 でいたが、 でいなが、 で 新京取引市况

中で大芸

政策の重要性を脱き右の対策の重要性を脱き右の対域でオランダ新聞ハンデルスオランダ新聞ハンデルスオランダ新聞ハンデルスオランダ新聞ハンデルスカランダ新聞ハンデルスカランダ新聞の論が表音濫電によれる他数外務省濫電によれる。

李形交換高(九日) 十月限

これに

(可認物便郵值三項)

美の酸器を検査してスピョへ 東書の血液を以てモルモット に廃て黄熟病の研究を行ひ、 に廃て黄熟病の研究を行ひ、 に廃て黄熟病の研究を行ひ、 に感染せしめ得たり、而して 大の聴器をはてモルモット

ポスター等によりこれが實情 部介に盡力して来たがさらに 今回新しい試みとして全満各 地の風景、農村罐進の姿、民 強の風景、農村罐進の姿、民 であるが近く完成文第發送す る管 官公場開設に伴ひ牡丹江土建一銀の値上りをよそに本審解氷市街の伸張ト省公場その他の一界に土建材料の暴騰と勢力質

配當五圓台を割つた

きのふ前半レー

活光 何級數的な人口母加による

解保委員は大體現行警察管區 に從ひ新設される隣保區內適 に從ひ新設される隣保區內適 低業紹介所、生業資金貿景處 市立病院その他社會事業側體 と協力し一般商民の生活狀態

000

ンの臭が動具小

※ 夜ン装 品床

躍る季節の尖兵 流行の縞模様

三中井百貨店のぞ記②

に 
御家まぶしい京 
京長殿、 
帶地 
である、 
二階 
である、 
二階 
である、 
二階 
の繁昌振りである、 
二階

(E)

が混じつて護る職場 ら五階まで廿一部、 大街の入口から概く くのが土産局部、丹 に適り分けた支那県

活地には数例の患者を出せし 子となるべき隣保委員規程、 に着手するととふなつた、同期等に傳播せり、亜細亜、法 大田川等に傳播せり、亜細亜、法 大田川等に傳播を お助規程および委員會規程の 上田 大田川等に傳播を 表記のようなの指示ならびに率 ち市公署會議室で開催の第十 地部 大田川等に傳播を 表記のようなのたが、これが骨 清のトップを切つて隣保事業 期待 地部には数例の患者を出せし 子となるべき隣保委員規程、 に着手するととふなつた、同 開告 は は に は は に は は に は は に は は に は は に は は に は は に は は に は に は は に は は に は は に は は に は に は に は に は に は に は に は は に は は は に は は に は に は に は に は は に は に は は に は は に は に は は に は に は に は は に は に は に は は に は は に は に は は に は は に は は に は は に は に は は に は 地には籔例の患者を

問 新元

ラリヤ▼ ※河工事と質黙とマ

の爲めに失敗に歸したりは佛國人なりしも遂に病

奉天に隣保委員會

けふ第二日日曜常

の神妙を物語つてしまつた、 後年に入つて、第九レースに 勝駒四十八圓の高配當を出し て帯やくファンを喜ばせ蚊に 正確な第一日を了へ、けふの ▲馬級者 本馬級者 本馬級者者

三

〇、四七〇週 I, 1100

十十十十十十九八七六五四三二

(人) 人) 高脇內梶落上松谷變變前吉濱
(保) 保
(保) 日
日
日
日
所
日
所
所
日
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
所
<p 中国 1 全風 (二分五五秒一) 2 1 全風 (二分五五秒一) 2 1 六五 風 (二分五五秒一) 2 1 六五 風 (1分五五秒一) 2 1 六五 風 (1分五五秒一) 2 1 六五 風 (1分 五 風 (1分 五 ) 2 1 元 風 (1分 五 元 ) 2 1 元 五 元 (1分 五 元 ) 2 1 元 五 元 (1分 五 元 ) 2 1 元 五 元 (1分 五 元 ) 2 1 元 (1分

で次から次へと殆ど空く間も時中援動會、開習會等の開催を申援動の高めに用意され二六

五十を潰滅

加の開發ミ防疫中央、南亜米利 O) 補嚴監禁部屬託 島

に於ける防疫史

現今南米ブラジルの首府として有名なるリオ・デ・ジャネイロ市の如きも、一九〇〇年頃に於ては黄黙、マラリヤに非常に惱まされたる土地なりしが、一九〇三年度に於てめしが、一九〇三年度に於てして一六五萬弗を支出して根本的に病毒防遏を講じたり

メラを通

満洲國を海外に紹介

總局の

新

しい

試み

損害及び防疫確算の一例 米國に於て家畜防疫

上述の如き徹底的防役實上地の如き徹底的防役實力、二九九名を超えたとも二、二九九名を超えたとも二、二九九名を超えたとも二、二九九名を超えたるも一九〇九年後に於てはるも一九〇九年後に於てはる。 萬兆に 

三濟 十二十九八七六五四三二 二第 信三長夕麒新待築千金金 區灣內落前久梶谷上高久裝 山水田合田保原尾口尾田 山水田合田保原尾口尾田

(二分州秒) 2 夕 (三分州秒) 2 夕 (八九圓六〇、等 (八九圓六〇、等

三着

十九八七六五四三二

入〇〇米、

着穴

三一五八1圓七英美頭四三四彩四圓八第頭治頭頗〇五一〇、光 置 一圓1圓五二二 000米

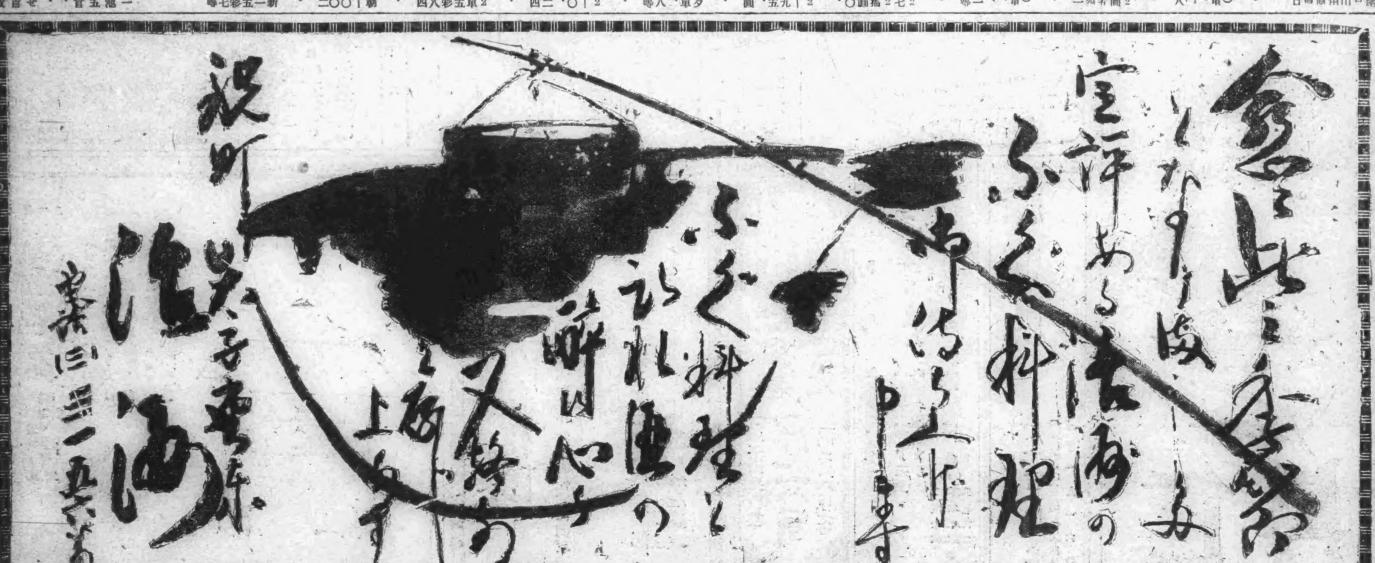
田尾滿保崎)尾合原田原 **警**合山原口水田尾

(11、1100米)

四〇〇米、

NOO米、

沿 治穴



新しい

生くる

第二松花江水電ダムに絡る挿話

に特に注意な

石松や荒神山と異り其の内容は難しい割合に派手な所もないが大郎長の人となりをあらはすにはとつて

**溴花節に於ても放送した事のない珍らしいものであめ伯山が一度放送したよけで其の後は調談に於ても今晩より三日間に巨る連續講談「秋葉の仇討」は** 

連續講談第

THE STATE OF THE S

其他材料一式

電話③ーニニ九〇番

扱ひ致します

新京室町四丁目口番地

∧=0 險

多少に不拘御申込次第係員多上御便宜に御取

二井火災保險

通關代辨

引越荷作

業

スー整族は野邊瑙

科業營

見玉

疊商

店

上敷 表替 新疊

新京曙町三ノー人

石織や水を用ひずにコールド 元れ性の方ならばなるべく

ふの番組

十日(日曜日)

四十二清水大郎長が三十一才の時、三月の末の取る一日女の時、三月の末の取る一日女房のお鰊を相手に一盃飲んで露を聞いて見ると、親父の佐羅を聞いて見ると、親父の佐羅を聞いて見ると、親父の佐

新コンロージ

……神田ろ山さん…



前から此の心掛 美容工作第一

化粧なすつても追ひつくもの ではありません。少くとも一 日以上前からお肌の準備工作 が是非必要です。でその工作 

をなさる

料理燃立

次郎長傳の内 秋葉の仇討

**〇** 新

路光楚

杨木小学校

大安與

(興亜街角)

新都病院

(2) 三五六

亞街

施生です。お母さんはこの夏 二十マルクをお前のお小使に それで賛しい暮しをしてゐまし 此の中百二十マルクある あんで賛しい暮しをしてゐまし 此の中百二十マルクを伯林の テル・エミイルは資料學校の損 お祖母さんに上げて、残りの びんで ままれば資料学校の損 お祖母さんに上げて、残りの びん はいました。 コミイルを伯林の妹の にまれている はいまれている はいましましています。 はいまれている はいままでん はいままでは、 はいまでは、 はいまではいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまではないまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまでは、 はいまではないまでは、 はいまでは、 はいまで (戦気はり)東京コドモ會 するめだよ」さう云つてお母さんは一生懸命になつてためた。 汽車の中でエミイルに被じました。 汽車の中でエミイルに被じました。 汽車の中でエミイルにはした。 汽車の中でエミイルは山高相をかむつた人相の悪い男のにお金をすつかりすられてしる ありませんか。エミイルはトランク片手に急いで汽車を飛りている。 探偵策どりになつて び下り、探偵策とりになつて でっ ひ下り、探偵策とりになつて

入學用意

校

新京日本腦橋鹽

診療科目

ーミシン會社

シンガーミシン 世 時人の好期 2000年

名作物語

少年探偵

或

> 感胃は今から流行します。この時 身に泌みそめた此頃の朝冷、夜冷

感胃に御要心

に仁丹の常用は抵抗力を強加して 感冒豫防の効果を益々顯揚します

油

富

精、ベナナ、際、障脳等を産 ・ 「一、米九百 ・ 「一、大宗として豚、 貨品 5 飴· 卸小賣 酒 大安賣 大安賣 卸小賣 卸小賣

陰軍歩兵中佐 陰軍歩兵中佐 登謀部附で臺灣軍の 参議部所で臺灣軍の 参議部所で臺灣軍の

田 新京梅ヶ枝町四ノニ 到 丸重洋行支店



緣 醫 院 本田大田田田本

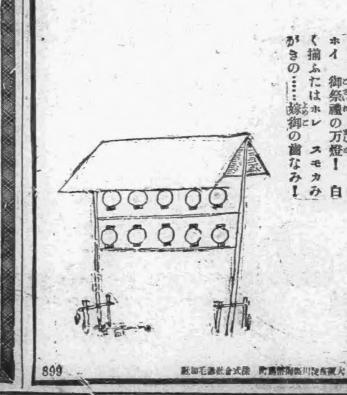


新京富土町四丁目ノ四 六番 眼 疾

ラフタ 東亞號藥房 ム専門薬 三三六四 六六〇七 二五二六







みコタ 90K がきの……嫁御の歯なみしく揃ふたはホレ スモカみ 品 00

、 にげ廻つてゐたが、やがて建築物よりも高く飛んでだ」といつて追ひ廻したので、蝶はひらひらとしばららなかつた。それを見つけた子供らは「やあ、蹼だが鰈はその峰通りがかりの小學生の爲に飛びたたねば

白い様かとまつてる

の日

の一事件

素の加スりすににない。 を整したいいでは、 を動い、ことでは、 を他といいでは、 を他といいでは、 を他とないいでは、 を他となったいととのは、 を他となったいとのは、 を他となったが、といって、 を他となったが、といって、 を他となったが、といって、 を他となったが、といって、 を他となったが、といって、 ををしてるといって、 を全なが、は、 を会なないいが、 でをもしますが、をできるが、 を会なないが、 できなり人を、 がななないけいでである。 ででもいが、 できなり、 できなが、 をは、 できなが、 でもなが、 でもなが、

辛清流小皷 教授

毎土曜日午後六時よ 明土曜日午後六時よ 中込所説町二 宮 町太子 宮 町入 カバン店

宋松接骨院

光堂療院

扱利便貸賃話電

業營

商信 送內貸小諧 外付口預 為割金 登引金金

東一條通り四六

土地建物會社

金電話用選部

目種

情質買は老舗 なる営祉へ!!

ド痢胃腸病を強防

話器金融

九州各師行船車連絡団符を

國光

電四日日日 日本

ほれつざ

本會へ 本合いるなら

院療紅仁京地番五十八通日朝

签町二丁目二四

是非人

次路丸 中日、廿日、卅日 中旬十二韓

大班 九州行近道

视町三自七(級座町道)

奉仕堂樂房

20六一三六番

帰博 安屋へ

五日、十五日、廿

一四國 一七國 二八國 三二國 一七國 一七國

東三周路無電気下東三周路無電気下間頭に迷うものは本會へ

永樂町八島小學校前橫入

何處から、何處の樹木からとんで來たのであらう
れの呼吸」ともおもはれる程、かすかな面を立てて薬
は机に静止した。

今ははや、おとろへかけた ものは明るい影を厳空に書いてゐたが なの限は道路を横切つて

回音樂

親話會①

# 文學への影響こ

ことは今日更めて論ずる必要 による創造の價値についても り。もしも文學者が自由なる 態は、最等の強みはないであら 生活の自由において、自己の內面的 生活の自由において、自己の內面的 生活の自由において、配等に共 の格でに質の精神的感激を覺え 野に感動し興奮してゐる時、 できない。この様な傾向は はできない。この様な傾向は はできない。この様な傾向は はできならら。 國民が職

深刻化するかも知れない。だ をないものを替くとすれば、 をないものを替くとすれば、 をないものをなつて攻撃者が一時の がらと云つて文學者が一時の をないものとなつて現れて くるであらう。こゝに一つの マレンマが横たはつてゐる。 このジレンマを験地ルボルタ



古り キンデモ 電の六〇四一 丸八商店 電の六〇四一 丸八商店

古者 多服オーバー イヤ 有老松町五 備 前 屋

帳簿專門 三省堂製本所

三笠町三ノ九

サック 無化し場く用 ・ 富土町二ノ 1 五 ・ 富土町二ノ 1 五 ・ 富土町二ノ 1 五

水樂派遣婦會 **電話③六四○**□

お茶留具はお茶園 お茶

各羅店。化粧・百貨店にあり

北日本汽船出版

敦賀店航

大和運輸公司 田之間何たノニ 田之間何たノニ 田之間何たノニ 田之間何たノニ 田之間何たノニ 田之間何たノニ 日之間何たノニ 田之間何たノニ

勉强引受 三秦公司中央通二十一 他(3)二七四七 水鍼灸院 病人の関係を表現の表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現の表別を表現していません。 リ灸専門の通大阪衛船側

敷上 月 專 原整骨院 骨專門 中五八六五

内地ムやげ電話即時配達

ロシヤ菓子

西村洋行

東一條機能

たる

**基猫** 養院病

作施日補タイピスト學院 関係の第二年

電③二八二八 預京キネマ前

酒保用品

卸

大湖市三河町二十

見れる日 極層軍 人で青

傳名以

位公允定

庫

豐富

此外文具類、韓貨等全部取揃へ有之候第多少に不拘御用合の程伏して順上論

長

唄

三

造

店

事屬荷扱所 國際壓邊會社各地支店 大阪商船株式會社 大連支店 整2——五二 大連支店 第2——五二

話(3)二一〇四番

品 3 三笠町 雅 3 六二 九二 三七

ル 型在 雞庫 呈富

製品先級店會社份的 修理工場西七周略一七 電ニーニ九七一新京吉野町二丁目ニュ 電三一大七大〇

金銀行新 電話代表公司ンミスート 店京

立本店横 金金横

壹億多千四百四拾萬圓 壹億圓(全額拂込濟) 



新京海ケ校町三・十 入會館意慶應看護婦會 派遣婦會

各一般女中及臨時女中、看護師、女給住、女告員、女事務員、女中及人共位属主及求職者は至急中、シュルル

**今辨慶整骨院** 言語③五三六一等

ハ料理と 調立寄下さい

賣買

質入れができま

高基礎語行

/河北丸 山西丸 山東十九月十一日

新聞の御中込は

瘤

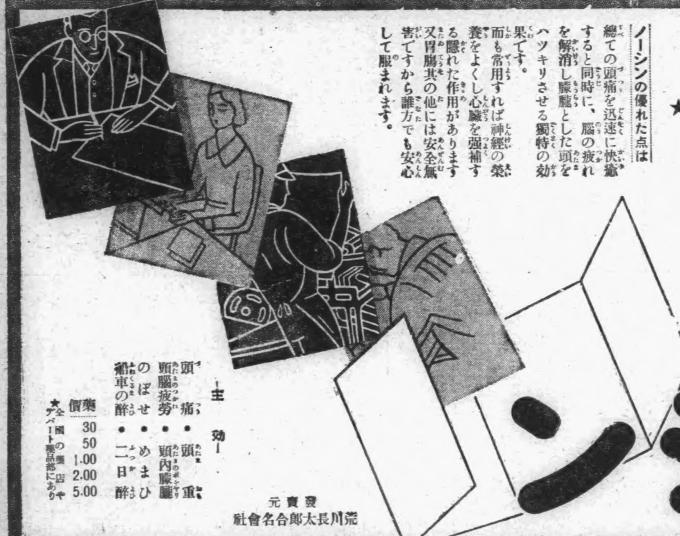
(B

1

今迄の百日咳の躁 は、凡て内殿襲か社財験である陰いが見を根手に、無理に薬をのませたり、神射したりするのは、大突を腹を仕事で、緩がる深見は勿論、南親の苦悩も脈大抵ではありませんでした。 後來のこの大きな欠点 をあた遺機とされ機井先生が多数音・脈大抵ではありませんでした。 一方イベンーはたぐ病兄の紅門都に添るだり、本外したりする。 一方カイベンーはたぐ病兄の紅門都に添るだり、本外したりする。 一方カイベンーはたぐ病兄の紅門都に添るだり、本外したりする。 法用使

金けて治る

E



能率を高めます。 能率を高めます。 能率を高めます。 能率を高めます。 職業戦線へ な頭腦

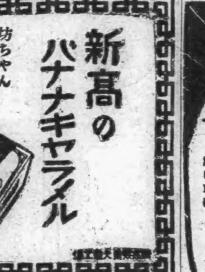
藥携必の者勞過腦頭



赤ちゃんを 母乳そのま」



て虫歯の 新髙の 度ちゃん 豫防にな 美味しし ヤラメル お友達 パナナキ 新高の 坊ちゃん る新高の インガム 風船チマイン





町一一旦大子堂前

產科、婦人科學 見科院長 野京メイヤ街 女

新 京 話(※) 惧





葉





さよなら、闘東局、

名残りの慰安會

きのふ公會堂で盛大に開催

# 治節トし舉行 武道大會は來る廿三日開催

# 評議員會で細目決定

懐徳入植の鮮農から

**食費を節約して獻金** 

半島人物盗捕る

日本 自贈 自 形を促す 特別 自贈 自 形を促す といふ機 樹の件は現在植樹せるもの的 ることになつた、同研究職は 歌の件は現在植樹せるもの的 ることになつた、同研究職は 歌の件は現在植樹せるもの的 ることになつた、同研究職は 歌の件は現在植樹せるもの的 ることになつた、同研究職は 歌の件は現在植樹せるもの的 ることになった。同研究職は 歌の件は現在植樹せるもの的 ることになつた、同研究職は 歌の作は現在植樹せるもの的 ることになつた、同研究職は 歌の作は現 が いっぱい にいました。 は いっぱい は は いっぱい は は 産馬に関する全施設が完備 の獣醫學校が建設されこれ の獣醫學校が建設されこれ の獣醫學校が建設されこれ

滿連絡船天

教質港碇泊中の日蔣連絡阪製通」九日午前十時十

おいて十一時半鎖火した、原因 指害収調中、なほこれがため 大一日の定期出帆は困難とみ のではこれがため は、原因

時計の御修繕は

馬疫研究處

月中旬竣工

眼病と食餌療法 永山寛 (予報) 脇屋 

国 る民衆娯楽に闘する諸問題に と つき種々意見をを換した、同 と 五回を敷へ第一期の試みを終 一 五回を敷へ第一期の試みを終

角膜遺瘍の治療法 喜早

日人女子給仕募集

一、年齢 十五歳以上十八歳迄の者
一、年齢 十五歳以上十八歳迄の者
一、年齢 十五歳以上十八歳迄の者
一、郷底 高等小學校卒業者
一、教京市内に確實なる保證人を有

總行庶務課 中央銀行

會經過報告

協和會全聯協議

某役所食堂

男給仕 ) 十五六才以上

三時着列車で層京した一会回側東軍艦託に任ぜられた

希望者本人來談

富士町一丁目一ノ三

| 大事科長婦國 | 京楽部官房人事科長藤井唐 | 京楽部官房人事科長藤井唐 | 京楽部官房人事科長藤井唐

蔓延の兆に當局對策に

六大學リーグ戦

明大1-0早大

明治0000 ・ 東京國通】早期第一回職は

最新流行の粹、

法政54一4帝大

【東京國通】 依帝一回版は五 本野四で法政勝つ 本パツテリー 帝大 久保田―五島、今中 ・ 会政 有節、佐藤―竹下、 ・ 対上

注 可

文と御希

望に

3

お待

ち申

L

本 に於ける賈出し等に答を装ひ び、また新京百貨店、太子堂 丁子屋 洲丁石

新京眼科學會 スを上映し散會

2化協會主催の複樂製品 市立医院永山眼科醫長を代じ

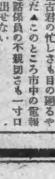
**法政50000** 

## 現在程度の牛乳細菌 體には無害

### 乳に開し関東局衛生課談

中等校を紅白に分ち各種競技のいで運動會に移り小學校、のいで運動會に移り小學校、の決して總會を終り

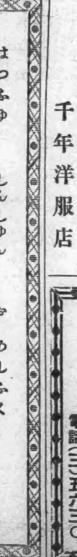
時局決議文可決



眼鏡上双眼鏡口 中山眼科醫院即科醫院 専門店清眼堂である

の信念を持つて精進いたしますれば御批評と御支援の程伏して御願ひ野町銀座の一角に移轉し一層各位の要望を満たす事の出来る店として強化を計り躍進!益々意気と黙を以つてスポーツ界の眞隨を發揮し吉りに存じ上げます、當スター運動具店も時代の要求と共に營架方針の、常時の秋に當り各位機能々御勇健に互らせられ邦家の爲め大慶の歪った。 富入荷いたしました是非御一覧

初冬から新春への御召服 ズンに備へて豊富取揃へました調と型と柄の高級既製品をシー 他に見られぬ色 應じて て居 りま 如 何樣 12 B



次回後の取扱は 話(三)五六三〇

保險は大きくて確實な

新京和泉町二丁目廿二 将 所 中 々 岩 工 務 所

水道の故障 II

御滿足でな

て、店の中は、もう可なり運搬し

利利、七十條頁、詳細関係入りの形法」と最

呈

裏易い冬の日間がよほど何むい

き織」の店の間の方で、別談でナ

所人の間に、だん!

長七郎に書んで黄

をの時、瞬の間な母永栄量の役

「あ」知らなんだ。そんな環情な

あんな娘ツ子

一郎曹

いるとき、使女の時は独を動るれ 鎮痛消炎作用。迅速なこと 深達殺菌作用。强力など

治淋劑の具備すべき條件

不快な副作用を伴はなっと **金具所する新台林県として見く** 総内服薬。パロール」は、以上の 京都帝大化學研究所の創製にか

急性淋疾 受売なる治淋効果を認められる新治神薬として膜く響

諸書類作成日滿鮮通譯 滿洲國商標登錄日滿民刑事訴託顧問及鑑定貸家貸地管理

辯護士黑田實法律

電氣蓄音機

産婆派遣 人院随意 (分娩室、手術室、病室完備) 科科 Æ 壶

栗

堀 新京藝萊町 電話三・ 院

原 三八〇 フノニ五

全國有名薬局にあり

普通用の毒掃丸

十圓・小圓・州圓

合名

京都帝國大學 化學研究所創製 產內 科科

**智思土田中** 

清美

(8

とお気付を、河の中へでも、いつそ

再び、門外へ被け出したお師

込んでやらうかと思ひま

長七郎の御用を飲めませるのでし

午前十時追分は 婦人科 科、 小兒科 性病科 配達 N. N. N. N.

賣店料 を行くので 知らぬ間に用 を行くので 知らぬ間に用 を行くので 知らぬ間に用

電話石炭部引一〇三二

新京日本橋通二五

品扱取

初期梅 慢性梅 かんそう



いて 持、歴 で、 で、 で、 お買い上げ 味の素 あれど、 お近くの

まづい味 を殲滅せ 料理の あらゆる んとする